

<特集「受動表現」>

## アムハラ語における受動表現 Passive Expression in Amharic

若狭 基道  
Motomichi Wakasa

跡見学園女子大学, 白鷗大学, 東京外国語大学非常勤講師  
Part-time lecturer at Atomi University, Hakuoh University and Tokyo University of Foreign Studies

**要旨:** 本稿の目的は、特集「受動表現」(『語学研究所論集』第14号, 2009, 東京外国語大学)における10個のアンケート項目に対するアムハラ語のデータを提供することである。

**Abstract:** The purpose of this paper is to offer the Amharic data for the question of 10 phrases for the special volume of the *Journal of the Institute of Language Research* 14, which focuses on the cross-linguistic study of 'passive expressions'.

**DOI:** <https://doi.org/10.15026/0002000405>

**キーワード:** アムハラ語, 受身, 持ち主の受身

**Keywords:** Amharic, passive, possessor passive

### 1. はじめに

アムハラ語とは、アフロアジア大語族に属するセム系の言語であり、エチオピアで広く共通語として使用されている言語である。

以下のデータは主として筆者による作例であるが、全て **ገበየሁ ቴሼማ አይሌ (Gebeyehu Tessema Ayele)** 氏にチェックして戴いた。氏には貴重なコメントも戴き、それは本稿にも反映されている。ここに記して感謝したい。無論、本稿に見られる不備は全て筆者が責任を負うべきものである。

例文の転写に於いて、ä は [e], è は破擦音 [ɟ], j は破擦音 [dʒ], ñ は [ɲ], y は接近音 [j] をそれぞれ表し、その他は IPA に準じる。

アムハラ語の動詞は文の主語に一致し、それは接頭辞や接尾辞で示されるが、それに加えて動詞部には極めて広い意味での目的語が組み込まれることがある。これを目的語接尾辞と称し、本稿例文では「=」でその境界を示す。また、伝統的に3人称単数男性の完了形が辞書の見出しの形として使われるが、本稿でもそれに倣う。アムハラ語文法の全体像に関しては若狭 (2021) を参照されたい。

#### 1-1 A は B に叩かれた。(直接受身)

(1-1-1) አልማዝ በበቀለ ተመታች።

almaz                      bā-bāk'k'älä                      tāmätta-čč.

(女性人名)                      LOC-(男性人名)                      叩かれる PFV-3SG.F

「アルマズはベケレに叩かれた」



本稿の著作権は著者が保持し、クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス (CC-BY) 下に提供します。  
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

対応する能動文は以下である。

(1-1-2) በቀለ አልሞገዝን መታት።

bāk'k'älä                almaz-en                mätt=at.  
 (男性人名)                (女性人名)-ACC    叩く PFV.3SG.M=3SG.F  
 「ベケレはアルマズを叩いた」

即ち、受動文(1-1-1)では

A: 能動文の基本形（動詞 mätta 「叩く」）に対し、T 派生形<sup>1</sup>（tämätta 「叩かれる」）が使われている。

B: 動作主を表す名詞句は、場所や道具を表す前置詞 *bä* を伴う。

C: 対応する能動文の目的語<sup>2</sup>に相当するものが主語となっている。

上記の条件を満たすものがアムハラ語の典型的な受動文であると言える。

但し、この言語では基本形と派生形間の意味関係は単純ではなく、T 派生形に対応する能動の意味を持つ動詞が常に上記の例の様に基本形であるとは限らない。例えば T 派生形の *tädärrägä* 「なされる」に対し、「する」は \**därrägä*（この基本形は存在しない）ではなく、基本形語幹の前に *a-* が付いていると考えられる A 派生形の *adärrägä* である。また、A 派生形 *as'addäk'ä* 「承認する」に対する「承認される」は基本形の *s'addäk'ä* である。また、T 派生形が必ずしも日本語の発想で受身と呼べるものを表すとは限らず、例えば *täk'abbälä* 「受け取る」や *tämälakkätä* 「見る」（いずれも基本形 \**k'abbälä* や \**mälakkätä* は存在しない）は、典型的な他動詞とは呼び難いとは言え、目的語接尾辞の振舞いから判断してアムハラ語では他動詞と考えて良い。

また、ある受動文が可能であることと、それが自然であると思われることは別である。実際、(1-1-1) のような作例を文脈無しに *Gebeyehu* 氏に見せたところ、(1-1-2) のようにするのが良い、と言われた。氏とエリシテーション調査をする限り、この一般に能動文が好まれるという傾向はかなり強いと思われ<sup>3</sup>、一々述べることはしないが本稿以下の諸例文にも総じて当て嵌まることである。更に、この傾向は、動作主がはっきりしていない場合、特定出来ない場合にもある程度は当て嵌まることのようにである。実際に筆者も以下のような遣り取りを耳にしたことがあり、*Gebeyehu* 氏に確認しても全く問題がないとのことである。

(1-1-3) <<X ጠተ።>> <<አንድት?!>> <<ሰው ንደሰው።>>

“X                mot-ä.”  
                   死ぬ PFV-3SG.M

“ändet?!”  
 どのように

“säw            gäddäl-ä=w.”  
 人                殺す PFV-3SG.M=3SG.M

「X は亡くなった」「何故?!」「殺された (lit. 人が彼を殺した)」

<sup>1</sup> 若狭 (2021) の用語。基本形の語幹の前に *tä-* が付いていると考えられる派生形である。

<sup>2</sup> ここで言う目的語とは典型的には(1-1-2)に見られるように直接目的語の標識-(ə)n を伴って動詞部とは別に現れたり、あるいは動詞部に組み込まれる目的語接尾辞（本稿では=で示す）で表されるものであるが、必ずしもそのように表されるとは限らない。

<sup>3</sup> アムハラ語と同じくセム語に属するアラビア語でも同様の傾向がより強く見られる。松尾 (2013) 参照。

但し, 以上のことは, 実際にアムハラ語で受動文が使われることが稀であること, 避けられることを意味しない. (1-1-1)は間違いなく適格な文であるし, 後述の(1-7-1)の括弧内の語句を省いたものを Gebeyehu 氏に見せた時には, 動作主が分らなければこれで全く問題がないとのコメントも得られている. 新聞の見出しにも受動文はしばしば見られる. 以下は実例であるが, 受身の意味を持つ T 派生形が 3 つも用いられている. 順に *tämärrät'ä* 「選ばれる」, *täk'wak'wamä* 「設立される」, *täbalä* 「言われる」であり, *tämärrät'ä* 「選ばれる」に関しては前置詞 *bä* による動作主の表現も伴っている. 但し, ここでの *tämärrät'ä* 「選ばれる」と *täk'wak'wamä* 「設立される」の *tä-*はそれぞれ第 1 語根子音の *m*, *k'w* に同化しているので T 派生形であることが分かり難くなっている. いずれにせよ, 受動文がアムハラ語に於いて実際にどの程度用いられているのかは, 別途調査が必要である.

(1-1-4) የአማራና የትግራይ ክልሎች በሚወዛበው ባቶው አካባቢዎች በነዋሪዎች የሚመረጥ አስተዳደር ይቋቋም ተባለ

y-amara-nna      yä-təgray      kəlləl-očč  
 ~の-アムハラ-と    ~の-ティグライ    州-PL  
 bä-mm-i-wwäzaggäb-u=bb=aččäw<sup>4</sup>      akkababi-wočč  
 LOC-REL-3PL-争う IPFV-3PL=LOC=3PL      地域-PL  
bä-näwari-wočč      yämm-i-mmärrät'      astädadär  
 LOC-住民-PL      REL-3SG.M-選ばれる IPFV    行政機関  
yə-k'w'k'w'ak'w'am      täbal-ä.  
 3SG.M-設立される JUS      言われる PFV-3SG.M

「アムハラ州とティグライ州が争っている地域に於いて, 住民達によって選ばれる行政機関が設立されるように, と言われた」(Reporter, 2455 号, 2023 年 11 月 8 日発行)

## 1-2 A は B に足を踏まれた. (持ち主の受身, 体の部分)

(1-2-1) አልማዝ በቀለ እግርዋን ተረገጠች።

almaz      bä-bäk'k'alä      əgər-wa-n      täräggät'-äčč.  
 (女性人名)      LOC-(男性人名)      足-3SG.F-ACC      踏まれる PFV-3SG.F  
 「アルマズはベケレに彼女の足を踏まれた」

上に見られる様に, 身体部分を目的語のままにした所謂持ち主の受身がこの言語では可能である. 恐らくかなり生産的で, 「足を触られた」や「尻を見られた」も Gebeyehu 氏に確認したところ, 可能であった. 尚, (1-2-1)に対応する能動文としては以下の 2 つがある. いずれにせよ, 動詞部に組み込まれた目的語接尾辞は男性名詞の「足」ではなく, 「彼女」, 即ち「アルマズ」を指していることに注意されたい.

(1-2-2) በቀለ የአልማዝን እግር ረገጣት።

bäk'k'alä      y-almaz-ən      əgər      rəggät'=at.  
 (男性人名)      ~の-(女性人名)-ACC      足      踏む PFV.3SG.M=3SG.F  
 「ベケレはアルマズの足を踏んだ (lit. ベケレはアルマズの足を, 彼女を踏んだ)」

<sup>4</sup> *tä* の同化により分かり難くなっているが, *täwäzaggäbä* 「争う」も T 派生形の一つである. 但し, 意味的には受身ではなく相互動作を表している.

## (1-2-3) በቀለ የአልማዝን እግሯን ረገጣት።

bāk'k'älä                    y-almaz-en                    əgər-wa-n                    räggät'=at.  
 (男性人名)                    ~の-(女性人名)-ACC                    足-3SG.F-ACC                    踏む PFV.3SG.M=3SG.F  
 「ベケレはアルマズの足を踏んだ (lit. ベケレはアルマズのを, 彼女の足を, 彼女を踏んだ)」

## 1-3 AはBに財布を盗まれた。(持ち主の受身, 持ち物)

## (1-3-1) አልማዝ በቀለ ቦርሳዋን ተሰረቀች።

almaz                    bā-bāk'k'älä                    borsa-wa-n                    täsärräk'-äčč.  
 (女性人名)                    LOC-(男性人名)                    財布-3SG.F-ACC                    盗まれる PFV-3SG.F  
 「アルマズはベケレに彼女の財布を盗まれた」

対応する能動文は以下である。目的語接尾辞が「財布」ではなく「彼女」、即ち「アルマズ」を指していることに注意されたい。

## (1-3-2) በቀለ የአልማዝን ቦርሳ ሰረቀት።

bāk'k'älä                    y-almaz-en                    borsa                    särräk'-at.  
 (男性人名)                    ~の-(女性人名)-ACC                    財布                    盗む PFV.3SG.M=3SG.F  
 「ベケレはアルマズの財布を盗んだ (lit. アルマズの財布を, 彼女を盗んだ)」

このように、アムハラ語では持ち物を目的語とした持ち主受身が可能であるが、これが可能なのは他に tānāt't'äk'ä 「ひたたくられる」、täzärräfä 「掠奪される」、täk'amma 「奪われる」のような広義の窃盗を表す動詞に限られている。従って、日本語とは異なり、「妻を殺された」や「家を焼かれた」の様な受身表現は不可能である。尚、täwässädä 「取られる」は持ち主受身の表現としては使われない。これは、この動詞が意味的に中立で必ずしも犯罪や窃盗を意味しないこと、(1-3-2)の末尾の särräk'=at 「彼は彼女から盗んだ (lit. 彼女を盗んだ)」とは異なり wässäd=at が「彼は彼女を連れ出した、彼女を連れて行った (\*彼女から取った)」という意味になること、等が関係していると思われる。「～を取られる」は以下の様に表現する。

## (1-3-3) አልማዝ ቦርሳዋን ተወሰደባት።

almaz                    borsa-wa-n                    täwsässäd-ä=bb=at.  
 (女性人名)                    財布-3SG.F-ACC                    取られる PFV-3SG.M=LOC<sup>5</sup>=3SG.F  
 「アルマズは、彼女の財布を取られた (lit. 彼女の財布を, 彼女に不利益な事にそれは取られた)」

動詞 täwässäd-ä は3人称単数男性の形なので、borsa 「財布」がこの動詞の主語である。但し、この文では borsa 「財布」という名詞に目的語の標識-n が付いている。文頭の almaz (女性人名) は言わばこの文の主題として機能していると考えられ、無くても適格な文として成立する。

尚、主題を伴う「窃盗動詞」を使った受動文に、以下の様なものがある。以下では盗られた物が主題に、盗まれた被害者が(名詞句として現れてはいないが)主語になっている。

## (1-3-4) የአልማዝ ቦርሳ በቀለ ተሰረቀች።

y-almaz                    borsa                    bā-bāk'k'älä                    täsärräk'-äčč.  
 ~の-(女性人名)                    財布                    LOC-(男性人名)                    盗まれる PFV-3SG.F

<sup>5</sup> ここでは被害格 malefactive を表すために使われている。

「アルマズの財布は、ベケレに彼女は盗まれた (i.e. アルマズはベケレに財布を盗まれた)」  
 ここでは *bä-bäk'k'alä* 「ベケレに」という動作主を表す部分が重要な役割を果たしているらしく、これがないと、主語と述語動詞の一致がおかしい文と判断される虞がある。実際、筆者の作例の(1-3-5)は Gebeyehu 氏に(1-3-6)の様に直された。(1-3-6)は、明示的な主語名詞句や動作主の表現こそないが(1-3-1)と構文としては同じである。

(1-3-5) \*የእኔ ቦርሳ ተሰረቅኩ።

\* *yä-ne*                *borsa*        *täsärräk'-ku.*  
 ~の-私                財布        盗まれる PFV-1SG

「(意図した意味) 私の財布は、(誰かに) 私は盗まれた (i.e. 私は財布を盗まれた)」

(1-3-6) የእኔን ቦርሳ ተሰረቅኩ።

*yä-ne-n*                *borsa*        *täsärräk'-ku.*  
 ~の-私-ACC        財布        盗まれる PFV-1SG

「私の財布を、私は盗まれた」

1-4 昨日の夜、私は赤ん坊に泣かれた。それでちっとも眠れなかった。(自動詞からの間接受身)

被害を表す自動詞からの間接受身、即ち T 派生形を使った文はアムハラ語では不可能である。その代わりに、註 5 で触れた被害格を表す前置詞の付いた目的語接尾辞を伴った能動形動詞を利用する。

(1-4-1) ትናንትና ሌሊት ሕፃን ልጁ አለቀሰብኝ። ስለዚህ ምንም መተኛት አልቻልኩም።

*tənantəmma*        *lelit*        *həs'an*    *ləj-u*                *aläk'k'äs-ä=bb=əññ.*  
 昨日                夜中        乳幼児    子供-DEF        泣く PFV-3SG.M=LOC=1SG  
*sälä-zzih*                        *mən-əm*    *mätäññat*        *al-čal-ku-m.*  
 ~に関して-PROX.SG.M    何-も    寝る事        NEG-出来る PFV-1SG-NEG

「昨日の夜、その赤ん坊が私にとって不利益なことに泣いた。そのため、私は全く眠れなかった」

但し、A 派生形の *aläk'k'äsä* 「泣く」に対応する T 派生形 *täläk'k'äsä* 自体は存在する。Kane (1990: 65) には以下の例がある。

(1-4-2) ተሰረቅኩት

*täläk'k'äs-ä=ll=at.*  
 泣かれる PFV-3SG.M=DAT<sup>6</sup>=3SG.F

「彼女のために泣かれた (i.e. 葬儀の場で人々が彼女を偲んで泣いた)」

(Kane の英訳は *she was mourned*)

この動詞は所謂非人称動詞で、3 人称単数男性の形でしか使われない。

(1-4-3) \*ትለቀሰሁ።

\* *tə-lläk'k'äs-alläh.*  
 2SG.M-泣かれる IPFV-在る<sup>7</sup>2SG.M

<sup>6</sup> ここでは受益者格 *benefactive* を表すために使われている。

<sup>7</sup> 若狭 (2021) で言うところの「主文成分」で、「～ている」の意味になることもあるが、総じて本稿での例文の理解には無視して良い。

(意図した意味)「君に関して人々が泣くだろう」

(1-4-4) ይለቀስልሃል።

yə-lläk'k'äs=əlI=əh-al.

3SG.M-泣かれる IPFV=DAT=2SG.M-在る 3SG.M

「君のために泣かれるだろう (i.e. 葬儀の場で人々が君を偲んで泣くだろう)」

その他にも、自動詞の T 派生形が存在するのは事実である。norä 「生きる, 暮らす」に対して tänorä が Kane (1990: 1049)に挙げられている。以下は Gebeyehu 氏の作例である。可能 (否定文なので不可能) のニュアンスが出ていると思われる。尚, ここでも tä-は第 1 語根子音 n に同化している。

(1-4-5) ሰላም ከሌለ አይኖርም።

sālam kā-lellä a-yə-nnor-əm.

平和 ~なら-無い REL.3SG.M NEG-3SG.M-暮らされる IPFV-NEG

「平和が無ければ, 暮らせない」

täñña 「寝る」に対する T 派生形も可能である。ここでも tä-が第 1 語根子音 t に同化している。

(1-4-6) በሰላም አይተኝም።

bä-sālam a-yə-ttäñña-m.

LOC-平和 NEG-3SG.M-寝られる IPFV-NEG

「(うるさくて) 平和に寝られない」

この動詞は使用に際しての制約が多く, 非人称であることに加え, 完了形で使われることもないらしい。

(1-4-7) \*አልተተኝም።

\*al-tätäñña-m.

NEG-寝られる PFV.3SG.M-NEG

(意図した意味)「寝られなかった」

この動詞, tätäñña 「寝られる」自体, Kane (1990)には見出しとして登録されていないし, (1-4-7)に挙げられた形を主要な検索エンジンで検索してもヒットしないので, 完了形での使用は少なくとも極めて不自然なのであろう。自動詞の T 派生形に関しては, その意味や生産性を始め, 明らかにすべき点が未だ多いと思われる。

## 1-5 新しいビルが (A によって) 建てられた。(モノ主語受身, 1 回の)

(1-5-1) አዲስ አካጽ (በኃይሌ) ተገነባ።

addis häns'a (bä-hayle) tägänäbba.

新しい 建物 (LOC-(男性人名)) 立てられる PFV.3SG.M

「新しい建物が (ハイレによって) 建てられた」

モノが主語の受身文であるが, Gebeyehu 氏の自省によると全く問題がないとのことである。少なくとも現在のアムハラ語ではそうであると思われる。新聞記事の見出しである(1-1-4)も参照されたい。また, Gebeyehu 氏と直接お会いした時に, 歩きながらの雑談の最中に氏が自発的に以下の発話をしたことがあ

る.

(1-5-2) አንጻው ተቃጠለ።

həns'a-w                      tāk'at't'äl-ä.

建物-DEF                      燃える PFV-3SG.M

「そこにあった）ビルは火災で焼失した」

ここに現れる動詞 tāk'at't'älä は「燃やされる」というよりは「燃える」という意味で使われているし、対応する「燃やす」は \*k'at't'älä ではなく AT 派生形の ak'k'at't'älä なので、これは典型的な受動文とはいえないかも知れないが、少なくともモノ主語の T 派生形が自然であることを示す実例である。

1-6 カナダではフランス語が話されている。(モノ主語受身, 恒常的. 動作主が問題にならない場合)

(1-6-1) በካናዳ ፈረንሳይኛ ይነገራል።

bä-kanada                      färänsayəñña                      yə-nnaggär-al.

LOC-カナダ                      フランス語                      3SG.M-話される IPFV-在る 3SG.M

「カナダではフランス語が話されている」

上では、例によって tä が第 1 語根子音 n に同化しているので分かり難いが、naggärä 「話す」に対する T 派生形 tänaggärä 「話される」が使われている。アムハラ語では主語と述語動詞が一致をするので、動詞を使うたびに主語が何なのかを意識する必要がある。そのため動作主が問題にならない場合や不明の場合には T 派生形が極めて便利である。

(1-6-2) የሚጠጣስ ምን ይምጣ?

yämm-i-t't'ät't'a-ss                      mən                      yə-mt'a?

REL-3SG.M-飲まれる IPFV-は                      何                      3SG.M-来る JUS

「飲み物は何に致しましょうか (lit. 飲まれるものは何が来るようにしますか)」

(1-6-3) ይህ ቲኬት በተገዛበት ጊዜ

yäh                      tiket                      bä-tägäzza=bb=ät                      gize

PROX.SG.M                      チケット LOC-買われる REL.PFV.3SG.M=LOC=3SG.M                      時

「このチケットを買った時 (lit. このチケットが買われた時)」

(1-6-4) እኔ ተሰፋዬ እባላለሁ።

əne                      täsfaye                      ə-bbal-allähu.

1SG                      (男性人名)                      1SG-言われる IPFV-在る 1SG

「私はテスファイエと言います (lit. 私はテスファイエとされています)」

1-7 財布が (A に) 盗まれた。(モノ主語受身, モノ主語の背後に被影響者が想定される)

(1-7-1) ቦርሳዋ (በቀለ) ተሰረቀ።

borsa-wa                      (bä-bäk'k'älä)                      täsärräk'-ä.

財布-3SG.F                      (LOC-(男性人名)) 盗まれる PFV-3SG.M

「彼女の財布が (ベケレに) 盗まれた」

上述の様にこの言語では能動文が好まれる傾向があるが、(1-7-1)も全く問題のない適格な文である。特に誰が盗んだか分からない場合、括弧内を取り去った文を発することに何も問題はない。財布の持ち主の被った損失・被害のニュアンスを出すには、註5や(1-4-1)で触れた前置詞付きの目的語接尾辞を使う。

(1-7-2) በርሳዋ (በቀለ) ተሰረቀሳች።

borsa-wa (bä-bäk'k'älä) täsäräk'-ä=bb=at.

財布-3SG.F (LOC-(男性人名)) 盗まれる PFV-3SG.M=LOC=3SG.F

「彼女の財布が彼女にとって不利益なことに(ベケレに)盗まれた」

#### 1-8 壁に絵が掛けられている。(モノ主語受身、結果状態の叙述)

(1-8-1) በግድግዳው ላይ ስዕል ተሰቅሏል።

bä-gədgədda-w lay səəl täsäk'l-w-al.

LOC-壁-DEF 上 絵 掛けられる CVB-3SG.M-在る 3SG.M

「その壁に絵が掛けられている」

結果状態を表すためには複合副動詞形(副動詞 CVB に「在る」が付いたもの)が使われる。それが受身形(T派生形)であっても何等問題はない。

#### 1-9 AはBに/から愛されている。(感情述語の受身、特に動作主のマーカ-に注目)

(1-9-1) አልማዝ በቀለ ትፈቀራለች።

almaz bä-bäk'k'älä tə-ffäk'k'är-alläčč.

(女性人名) LOC-(男性人名) 3SG.F-愛される IPFV-在る 3SG.F

「アルマズはベケレに愛されている」

対応する能動文は以下である。

(1-9-2) በቀለ አልማዝን ያፈቅራታል።

bäk'k'älä almaz-ən y-afäk'r=at=al.

(男性人名) (女性人名)-ACC 3SG.M-愛する IPFV=3SG.F=在る 3SG.M

「ベケレはアルマズを愛している (lit. アルマズを, 彼女を愛している)」

即ち、「愛する」afäk'k'äraが基本形ではなくA派生形ではあるが、上の2つは典型的な受動表現と対応する能動表現の例である。よって(1-9-1)で動作者を表す前置詞はbäであり、他の前置詞等ではあり得ない。尚、動詞を基本形のwäddädä「好む, 好きである」と対応するT派生形täwäddädä「好まれる, 好かれる」に替えても同様の構文が成立する。こちらの方が能動文で基本形が出て来る分、より典型的であると言えなくもない。



1-10 AはBに／から「…」と言われた。(伝達動詞の受身, 特に動作主のマーカ-に注目)

(1-10-1) አልማዝ በቀለ << >> ተባለች።

almaz                   bä-bäk'k'älä           <<...>>                   täbal-äčč.  
(女性人名)           LOC-(男性人名)    言われる PFV.3SG.F

「アルマズはベケレに『・・・』と言われた」

対応する能動文は以下である。

(1-10-2) በቀለ አልማዝን << >> አለች።

bäk'k'älä               almaz-ən               <<...>>               al-at.  
(男性人名)           (女性人名)-ACC    言う PFV.3SG.M=3SG.F

「ベケレはアルマズに『・・・』と言った」

基本形 alä 「言う」に対応する T 派生形は tābalä 「言われる」と基本形では失われた b 音を保っている点で不規則であるが, それを除けば上の 2 つは典型的な受動文と能動文との対応を示している。よって, (1-10-1)の前置詞は bä でなければならないし, (1-10-2)では声を掛けられているアルマズは直接目的語として表現されている。

1-10-a AさんはBさんに呼ばれて, 今Bさんの部屋に行っています。

(1-10-a-1) አልማዝ በቀለ ተጠርታ አሁን በቀለ ክፍል ውስጥ ናት።

almaz                   bä-bäk'k'älä           tät'ärt-a  
(女性人名)           LOC-(男性人名)           呼ばれる CVB-3SG.F

ahun   bä-bäk'k'älä       kəfəl   wəst'   nat.  
今       LOC-(男性人名)   部屋    中       COP.3SG.F

「アルマズはベケレに呼ばれて, 今, ベケレの部屋の中に居ます」

1-10-b BさんがAさんを読んで, Aさんは今Bさんの部屋に行っています。

(1-10-b-1) በቀለ አልማዝን ጠርቷት አሁን አልማዝ በቀለ ክፍል ውስጥ ናት።

bäk'k'älä               almaz-ən               t'ärt-<sup>w</sup>=at  
(男性人名)           (女性人名)-ACC           呼ぶ CVB-3SG.M=3SG.F

ahun   almaz               bä-bäk'k'älä       kəfəl   wəst'   nat.  
今       (女性人名)       LOC-(男性人名)   部屋    中       COP.3SG.F

「ベケレがアルマズを読んで, 今, アルマズはベケレの部屋の中に居ます」

上の 2 つでは, どちらも動詞の副動詞形を用いて節を繋げている。この場合, 2 つの節の主語が同一である必要はない。従って, どちらも正しい文であるが, Gebeyehu 氏の内省によると, 能動文の方が好ましいとの傾向に沿い, (1-10-b-1)の方が好ましいとのことである。

### 略号一覧

ACC (accusative 対格), COP (copula 繫辞), CVB (converb 副動詞), DAT (dative 与格), DEF (definite article 定冠詞), F (feminine 女性), IPFV (imperfective 未完了形), JUS (jussive 希求形), LOC (locative-instrumental 場所道具格), M (masculine 男性), NEG (negative 否定), SG (singular 単数), PFV

(perfective 完了形), PROX (proximal 近称), PL (plural 複数), REL (relative 連体形), 1 (1 人称), 2 (2 人称), 3 (3 人称)

#### 参考文献

欧文

Kane, Thomas Leiper. 1990. *Amharic-English Dictionary*. Wiesbaden: Otto Harrassowitz.

和文

松尾愛. 2013. 「アラビア語」『語学研究所論集』18: 436-466.

若狭基道. 2021. 『ニューエクスプレスプラスアムハラ語』東京: 白水社.

執筆者連絡先: [motomichiwakasa@nifty.com](mailto:motomichiwakasa@nifty.com)

原稿受理: 2023 年 12 月 17 日